

13 みんなで、絵本やお話の世界を楽しもう

【き】 誰かのために読み聞かせをしたい！

元々、子育てひろばの家庭文庫を利用して月1回読書会を行い、楽しんでいた母親グループでした。平成5年1月、「自分たちだけが楽しむのではなく、誰かのために読み聞かせをしたい!」という声をきっかけに、ボランティアグループを作り活動を始めました。

【概】 子供からお年寄りまで、お話の世界を楽しんでいます

メンバー30人で、市内8小学校のアフタースクールの子供たちに週1回30分の絵本の読み聞かせやストーリーテリング(昔話などを覚えて話す手法です)を行っています。

市立図書館、児童館、保育園、幼稚園、高齢者対象のいきいきサロンでは、月1~2回、定期的に「おはなし会」を行っています。

他にも、地域から声がかかればお手伝いに行きますし、メンバー間で資質向上&情報交換のための勉強会も行っています。

【成】 地域の中で活動していることを実感しています

10年あまり「おはなし会」を行っている保育園では、子供たちは毎回、目をきらきらさせて楽しみにしてくれています。違う場所で会っても「あ、おはなし会のおばちゃんや!」と声をかけてくれます。

一方、地域の高齢者が集まるいきいきサロンでは、高齢者を対象にお話会を行っています。こちらでは日本の昔話や、地域の歴史の紙芝居が大人気です。サロンだけでなく、日常生活でも年齢を超えて親しいお付き合いをさせていただいています。

【夢】 みんなが仲良く話せる地域をめざして

これからも、活動を通じて読書ボランティアを増やし、こころ豊かな子供たちを育てるお手伝いをしていきたいと思っています。私たちの活動が、子供からお年寄りまで、気軽に会話の弾む地域づくりの一助になればいいな、と思っています。



児童館チャイコムでのお話し会

おはなしサークル 「ピッピ」

代表者氏名:永井元子
活動地域:主に小野市、社町、三木市
連絡を取りたい方は参画協働課までご連絡ください。

組
も
に
取
り
組
み
等

兵庫教育大学の絵本サークル

活動が広がり、本の読み手が足りなくなったとき、同大学附属中の国語の講師をしているメンバーを通じて、活動に加わってもらいました。学生さんも、将来の仕事につながる活動の場が得られたととても喜んでくれました。

活用した支援

絵本作家を招いた講演会の経費負担
(小野市教育委員会)



市立図書館と協働することで、活動の場を確保

小野市の市立図書館は、開館8年目になりますが、できてすぐに図書館を訪れ、活動場所として使わせてほしいとお願いしました。活動内容が絵本の読み聞かせだったので、図書館で子ども相手に読み聞かせをできることもあり、すぐに了承してくださいました。

ただ、何もせずに部屋を借りているわけではありません。図書館の子供たちに読み聞かせをする以外にも、リサイクルバザーのお手伝いをしたり、図書館の依頼で老人ホームでお話を開催したり、何かできることがあれば積極的にお手伝いしています。



これまでの活動の縁で、活動を広げました

絵本の素晴らしさを知ってもらおうと、プロの作家の方を招いて講演会がしたい！と以前から思っていました。代表はかつて県立図書館が作った「楽しい絵本箱」の編集委員をしていたのですが、そのとき知り合った県立図書館の主任専門員の方に、作家の高樓方子さんを紹介していただきました。経費は普段お世話になっている市立図書館の館長さんのご協力で市教委に負担してもらいました。

おかげさまで、平成16年5月2日に地元の商工会館で開催することができました。会場は200人の観客で埋まり、大盛況でした。

求ム!

絵本が好きで、子どもが好きな人、ぜひ一緒に活動しませんか。美しい絵と言葉の世界は、読めば読むほど、奥深く魅力的です。声を出して読むことや、世代の違った人たちに出会うことは、少しでも若さを保つことにつながるのではないのでしょうか。



野外でのパネルシアター

読者の皆さんへのメッセージ

私たちは常にお互いの良さを認め合いながら、ボランティアを楽しむことが基本だと考えています。みんなが協力し合い、楽しんでいるので、喜びの場をたくさんもらっているような気がします。聞き手があってこそできる活動でもあり、読み手と聞き手、お互いの気持ちがぴったり合ったすばらしい時間を過ごす経験をすると、続けて来て良かったとつくづく思います。